



信金中央金庫
SHINKIN CENTRAL BANK

地域・中小企業研究所 ニュース&トピックス (2020. 3. 9)

〒103-0028 東京都中央区八重洲1-3-7 TEL. 03-5202-7671 FAX. 03-3278-7048
URL <https://www.scbri.jp> e-mail : s1000790@FaceToFace.ne.jp

城北信用金庫の取引先 PR サイト「Tram Walker」について

東京営業部

ポイント

- ▶ 城北信用金庫¹（以下「同金庫」という。）は、今年度から始まった第6次中期経営計画において、地域の「プラットフォーマー」となるために、地域やお客さまとの関係再構築に取り組んでいる。この取組みに役立つような、また付加価値が高く対価にしっかりと結びつくようなコミュニケーションツールを金融・非金融両面から創造し、提供している。
- ▶ 非金融については、ブランディングや広報活動ならびに地域プロモーションやメディア、イベントの企画制作を通じて、地域に夢や楽しさを届ける活動に取り組んでおり、コミュニケーション開発事業部（以下「同部」という。）が中心となって対応している。
- ▶ 地域プロモーションの取組みのひとつとして、同金庫では営業エリアにある都電荒川線（東京さくらトラム）沿線の同金庫取引先等を PR するサイト「Tram Walker」を運営しており、現在 40 先を掲載している。
- ▶ 掲載している取引先等からは、自前のホームページがないなか、当サイトで紹介してもらえるのは非常にありがたいとの声がある。また、1か月のサイト閲覧数は6,000件を超えるなど、同金庫としても、取引先の経営支援につながる取組みとして評価している。

はじめに

城北信用金庫は、今年度から始まった第6次中期経営計画において、地域の「プラットフォーマー」となるために、地域やお客さまとの関係再構築に取り組んでいる。すなわち地域やお客さまについて誰よりも一番「多く」、「深く」知ることにより、地域内のさまざまなニーズや価値を、最も適切な組み合わせで結びつけられる基盤（プラットフォーム）のような存在となることを目指しており、金融・非金融の両面から、お客さまに価値が高いと感じてもらえるサービスを提供している。2012年に新設したコミュニケーション開発事業部を中心に、地域プロモーションやメディア、イベントの企画制作を通じて、非金融面から地域の夢や楽しさを届ける活動に取り組んでいる。本稿では、同部が制作から運営まで手掛けている、都電荒川線（東京さくらトラム）沿線の取引先や地域の魅力を PR するサイト「Tram Walker」について紹介する。

1. コミュニケーション開発事業部について

(1) 立上げの背景

同部は、地域密着型金融の根幹である地域や顧客とのコミュニケーションを強化することを目的として、2012年に新設された。

現在は、同金庫における非金融面のうち、「クリエイティブ」や「パブリックリレーションズ」の企画等を担う部署として、デザイナーやカメラマンといった専門性の高い人材を配置のうえ、地域活性化のサポートや、地域や顧客とのコミュニケーションを活発にする様々な取組みを展開している。

(2) 主な取組み

同部における主な取組みとしては、同金庫が参画している農林水産省「農業女子プロジェクト」の一環である、農業女子と同金庫取引先のマッチング等の取組みを紹介するサイト「Natluriga」の運営や、スタートアップ企業等の資金調達等をサポートする購入型クラウドファンディングサイト「NACORD」の運営、同金庫の店舗が数多く位置する都電荒川線沿線の取引先や地域の魅力を PR するサイト「Tram Walker」の運営、(一社)東京北区観光協会との連携による地域活性化イベントへの参画等が挙げられる。

¹ 2019年3月末の同金庫の概要は以下のとおり。本部所在地：東京都北区、本店所在地：東京都荒川区、預金量：2兆4,645億円、貸出金：1兆2,109億円、店舗数：95店舗（うち出張所13店舗）、従業員数：1,971人

2. 「Tram Walker」について

(1) 背景

当サイトは、当初、旧王子信用金庫が「都電各駅停車之旅」として開設したのが始まりである。当時は、旧王子信用金庫の店舗が都電荒川線沿線に少なかったこともあり、都電荒川線や沿線のスポットの紹介にとどまっていた。その後、2004年に旧王子信用金庫を含む4信用金庫の合併により、本店所在地である荒川区および本部所在地である北区を中心に都電荒川線沿線の店舗が増加したことから、都電荒川線のファン以外の地域住民の目にも留まるよう、2016年に「都電各駅停車之旅」をリニューアルし、沿線の取引先や地域の魅力をPRするサイト「Tram Walker」として新設した。

なお、2004年5月から、都電荒川線では同金庫のラッピング電車が複数台走行するなど、同金庫と都電荒川線には深いつながりがある。

(2) 掲載内容

当サイトは大きく分けて、取引先や地域の魅力をPRするページと、都電荒川線の歴史を紹介するページの2部構成となっている。

取引先や地域の魅力をPRするページは、停留所ごとにページが分かれており、各停留所のエリアにある取引先や魅力的なスポットについて、閲覧者に容易に伝わるように、写真と100文字程度の概要や特長等を記載している。

なお、現在は40先が掲載されており、今後も1か月に2～3先程度を目安に、順次掲載先を追加する予定としている。

(3) 掲載対象

掲載先の選定方法については、当サイトの開設当初は、同部の職員が沿線にあるめばしい飲食店等に飛び込みで取材交渉を行っていた。その後、掲載内容が充実し、当サイトの認知度が上がるにつれて、営業店からの取引先の推薦が増え、現在では掲載先のほとんどが営業店からの推薦によるものとなっている。また、当サイトを見た取引先等から、掲載を依頼してくることもある。

なお、掲載先の業種は限定しておらず、飲食店以外にも宝飾店や観光スポット等、多岐にわたっている。

【掲載例：プラレールが走るカフェ 子鉄】



プラレールが走るカフェ 子鉄

都内で2店舗しかない、プラレールが走る電車好き（子鉄）に人気のカフェ。2階は座敷席なので、ママ友を誘ってゆっくり過ごすのもオススメ。離乳食の販売やおむつ替えスペースもあるので赤ちゃん連れも安心です。

住所：荒川区西尾久7-19-11

TEL：03-6807-7513

営業時間：平日10:30～18:00

土日祝10:00～18:00

定休日：火曜日

お店SNS：Instagram

(4) 掲載までの流れ

同部は、デザイナーやカメラマンといった専門スキルを持った人材が配属されているため、当サイトについても、取材からサイトへの掲載まですべて内製化している。

取材では、同部所属のカメラマンを含めた2～3名および掲載先の取引営業店の営業担当者が訪問し、掲載先の特長等のインタビューや写真撮影を行う。その後、同部において紹介文の作成等を行い、掲載先の確認を経たうえで、サイトに掲載する流れとなっている。

なお、取材からサイトへの掲載までの期間は概ね1か月程度となっており、サイト運営を全て内製化しているからこそ、スピード感をもって対応することが可能となっている。

(5) 評価

イ. 掲載先からの評価

掲載先からは、「自社のホームページがないなか、城北信用金庫が当サイトで紹介してくれてありがたい」や「来店したお客様が当サイトの

掲載ページを見ていた」等の声が挙がっている。また、自社のホームページを持っている掲載先からは、当サイトのバナーを掲載したいとの要望も聞かれた。さらに、一部の掲載先からは、取材時に撮影した写真を転用し、ポストカードを作成したいとの要望があるなど、当サイトに関するさまざまな反響が寄せられている。

ロ. 同金庫の評価

当サイトの閲覧数は、1か月当たり6,000件を超え、都電荒川線沿線の取引先や地域の魅力のPRに資しており、掲載先の売上や顧客の増加が期待できる点で取引先の経営支援にもつながる取組みであると評価している。

また、飛込みで取材交渉を行った掲載先から預金口座を獲得したり、一度取引が切れていた先との取引が復活するなどの事例もあり、同金庫内では、当サイトが地域や取引先とのコミュニケーションのきっかけづくりとなっていると評価している。

現在は、北区および荒川区の停留所のエリアを中心に掲載しているが、今後さらに当サイトを充実させていきたいとのことである。

以 上